
・事業の概況（平成27年度）

損益の状況

事業総利益は26億8,915万円で前年対比9,907万円の減少となりました。

事業利益は5,755万円で前年対比1億285万円の減少となりました。

経常利益は1億5,828万円で前年対比1億421万円の減少となりました。

税引前当期剰余金は1億7,512万円で前年対比6,938万円の減少となりました。

税引後当期剰余金は1億537万円で前年対比6,441万円の減少となりました。

営農指導事業

平成27年度は、台風による被害は比較的少なかったものの、夏場の干ばつや、暖冬により農作物の生育に大きく影響を及ぼした年でした。

栽培履歴記帳を推進するとともに農薬の適正使用を呼びかけ、安心・安全な農産物の生産を指導しました。JA独自の鳥獣被害対策事業も3年目に入り、管内の捕獲頭数も前年を大きく上回る実績をあげ農産物の鳥獣被害の軽減に地域を挙げて取り組みました。

また、農家組合員の労働負担軽減と職員の農業知識向上のため、職員全員による農家支援事業を実施しました。

園芸部門

- 1.付加価値の高い花卉生産を行うため、リファレンステストルームを設置し、生産者・JA一体となり「花持ち認証」取得に取り組み、3月にカーネーションの認証取得をしました。
- 2.絹さやの種子増殖事業実施により、伊豆太陽独自の種子の確保を行いました。
- 3.新品種・新規作物の導入及び試験栽培を実施しました。（いちご・野ぶき・花卉）

柑橘部門

- 1.ハウスマカンの「しずおか食セレクション」の認定に向けた部会のサポートを行い、平成27年7月認定を受けました。
- 2.各部会において栽培講習会・園地巡回を実施し、高品質果実の生産に努めました。
- 3.防除暦を遵守した適期防除により、安心・安全な柑橘類の生産指導を行いました。

林産部門

- 1.山葵の出荷情報の伝達を系統販売機関と密に取り、有利販売に繋げるとともに消費の拡大及び生山葵のPRのため、消費宣伝会を実施しました。
- 2.乾椎茸の選別講習会を開催し、選別技術の向上、ほだ場巡回による栽培技術の向上に努めました。

生活指導事業

- 1.～郷土料理を次世代に～をテーマにクッキングフェスタを開催しました。
- 2.女性部スローガン～いっしょにやろうよ！～の活動により、農産物の生産・調理を幼稚園・施設等で実施し食の大切さ、安全・安心、おいしさを伝えました。
- 3.いきいきライフセミナーを通して加工教室・健康教室を開催しました。
- 4.青壮年部員による先進農家視察研修を実施しました。

広報事業

1. 広報誌及びホームページを通じ、新規就農者・農業関連情報を発信しました。
2. 次世代層に食と農の関心を高めるため、広報誌を学校に配布し情報提供しました。
3. J Aの活動を広くPRするため、新聞等を通じたパブリシティ活動を行いました。
4. 1支店1協同活動の実践により、地域一体となった活動を情報発信しました。

販売事業

秋口からの曇天・日照不足により花卉類の生育遅れや作付面積の減少により、出荷数量が伸びず主力であるカーネーション・スナップが計画未達となりました。柑橘類は、甘夏類が大きく出荷減となりましたが、ニューサマーの豊作や中晩柑類の価格高により計画を達成できました。いちごは、生育時の花芽分化が順調に推移し、年内の出荷数量が増加し安定販売ができました。年明けも大きな相場の下げもなく計画を上回りました。山葵は、全国的に市場への入荷量が多く、単価は前年を下回りましたが、年間を通じ出荷量増となり計画を上回りました。「ほのぼの売店」においても、出荷者も増え順調な販売ができ、販売全体で計画を達成できました。

また、平成27年度より購買店舗・バイステージ下田J A直売センターで行っている朝市は販売事業に変更しました。

購買事業

平成27年度はJ A改革の初年度にあたり、8月より高齢者支援事業として食料品の移動販売を下田地区、南伊豆地区、河津地区、西伊豆地区にて開始しました。また、生産者農家支援として年度当初より肥料の主要30品目、6月からは農薬の18品目さらに2月からは24品目に拡大して価格の引き下げを行ないました。新規仕入れ先の開拓にも積極的に取り組み、商品の品揃えを豊富にすることにより、供給拡大に努めました。

1. 生産資材

生産者農家の高齢化や減少、さらに肥料・農薬の一部価格を引き下げたことにより、肥料93.1%、農薬91.1%、包装資材92.7%、農業機械85.5%と計画を下回りました。また、原油価格の下落及び暖冬の影響により、営農用A重油の供給高が大幅な減少となり石油類（生産）は、49.9%と計画を大きく下回りました。生産資材全体では、84.3%と計画未達となりました。

なお、農業生産コスト軽減に向けた取り組みとして、生産資材割戻金を実施しました。

2. 生活資材

生活資材につきましては、購買米が価格下落により、購買米91.9%、また石油類（生産）と同様に原油価格下落により、石油類（生活）は78.8%と計画を下回りました。代行推進（シロアリ防除・健康器具・補聴器）の供給が順調に伸びたことにより、その他生活資材が124.9%と計画を上回りました。生活資材全体では、89.8%と計画未達となりました。

なお、平成27年度より購買店舗で行っている朝市は、購買事業から販売事業に変更したことから、生活資材供給高が、65,711千円減少しています。

3. 葬祭事業

メモリアルホールの利用が順調に推移し、施行件数は373件で、前年より31件増加し、ホール利用率は全施行件数の79.6%となりました。また、伊豆斎場での占有率は40.6%となりました。

金融事業

国内景気につきましては、個人消費で停滞感が見られるなど、景気回復は足踏みが続いております。

また、日本銀行のマイナス金利政策導入後、市場金利は大きく低下し、今後の金融収支に大きな影響を及ぼすものと想定されます。

依然として少子高齢化による人口減少等、経済低迷により管内の産業に於いても低調推移を続けております。

このような状況下、JA伊豆太陽3か年計画の中期年度であります平成27年度については、「農業・暮らしに貢献するためのJAバンク機能の発揮」を基本方針に掲げ、農業経営の安定化、農業・地域の振興に貢献するとともに、生活メインバンクとして個人貯金の増強を主軸に金融商品の提供に取り組んでまいりました。

貯金については、年度初来21億円の伸長があり、1,681億円の実績を積み上げることができました。貸出金については住宅着工件数の減少や金利低下による他行借換攻勢の熾烈化により、大きな成果は見られず、11億円の減少に終わりました。

金融円滑化に関する対応

当組合は、農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて「金融円滑化にかかる基本方針」を理事会にて制定し、取り組んでおります。

金融円滑化にかかる基本方針（概要）

- 1 新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する、柔軟な対応
- 2 お客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援
- 3 新規のご融資・お借入条件の変更等のご相談・お申込みに対する適切かつ十分な説明
- 4 新規のご融資・お借入条件の変更等に関する苦情相談への公正・迅速・誠実な対応
- 5 金融円滑化法の趣旨を踏まえた適切な対応
- 6 当組合の金融円滑化管理に関する体制

方針の全文については、ホームページをご覧ください。

なお、苦情相談等を適切に行うための体制については以下のとおりとなります。

(1) お客さまからの金融円滑化にかかるご相談の窓口を金融部に設置しているほか、各支店においても承っております。

(2) お客さまからの当組合の金融円滑化にかかる措置に対する苦情については、苦情等統括部署に受付窓口を設置しております。また、各支店で苦情を受けた場合には、当組合所定の手続きに従って、速やかに苦情等統括部署に連絡をし、各支店が連携のうえ、適切な対応を実施する体制を整備しております。

また、当該措置に係る中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制については、金融円滑化責任部署又は金融円滑化管理協議会等を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善又は再生のための助言等を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組めます。

特に、農業者のお客さまに関しましては、当組合の営農部門とも連携し、経営相談等行う体制を整備しております。

共済事業

ＪＡ共済事業の展開を図る環境は、主軸である観光業の不振に加え正組合員・利用者の高齢化、年々進む人口減少は将来に不安を残す厳しい状況が続いております。本年度は3か年計画の中期年度にあたり、「契約者・利用者が親切丁寧で安心・便利・速いと感じる対応力の強化」を継続的に取り組みました。

このように厳しい環境、競合他社がひしめくなか、職員一丸となった一斉普及活動とライフアドバイザーを中心とした保障の見直しと提案活動を積極的に取り組んだ結果、平成27年度の推進総合ポイント目標の達成ができました。長期共済においては、こども・介護・がん共済などの顧客ニーズに対応した生存型保障の新規契約が増加しましたが、長期共済保有高の減少が著しく、保有高維持が難しい状況となっております。

一方、短期共済においては自動車事故査定の対応力が、県下ＪＡ第2位の利用者満足度評価を受け新規獲得に繋がるとともに、継続時の積極的なグレードアップ推進により、掛金・ポイント目標ともに達成することができました。

共済保全業務につきましては、自然災害損害調査員研修会をはじめとする各種研修会を実施し、知識向上、対応力向上を図るとともに、コンプライアンスの徹底に努めました。

加工事業

地域観光業への加工品卸売販売が厳しいなか、夏場のオリジナル飲料販売が好調でした。また、県内外量販店等へ「わさび漬」を安定して販売する事ができました。さらには、ベイステージ下田ＪＡ直売センターの販売力向上に努めました。計画比105.7%、前年比106.1%となり、計画を達成しました。

福祉事業

平成27年度は介護保険法の改定初年度となり、基本報酬が減額となりました。このため各市町や病院を訪問して、利用者数の増加に取り組みました。このことが奏功して前年より利用者件数は増加となりました。

居宅介護事業では、年間2,000人の計画に対し1,633人、訪問介護事業では年間1,103人の計画に対し1,008人の実績となりました。福祉事業全体では、費用削減に努め、差引収益44,625千円（計画対比88.9%）となり、計画は未達となりましたが、前年対比では101.6%となり前年を上回ることができました。

監査部門

平成27年度は、内部管理態勢および内部牽制を重視した監査の強化に努め、不祥事の未然防止と早期発見に重点を置き、本店を含め全事業所の無通告監査及び一部の事業については外部確認を実施し、リスクの高い取引や事務処理等の適正性・有効性を中心に監査を実施しました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。

事業・活動のトピックス（平成27年度）

年 月 日	処 理 事 項
平成27年4月1日	平成26年度定年退職者退所式
3日	L A 進発式
7日	第25回青壮年部通常総会
16日	第25回女性部通常総代会
"	青壮年部河津支部食育活動（落花生の種まき）
17日	第56回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
17日～30日	平成26年度決算監事監査
28日	第1回定例理事会
	第1号議案 平成26年度不良債権の処理方針について
	第2号議案 平成27年度コンプライアンス・プログラムの設定について
	第3号議案 平成26年度JA全国監査機構決算期中監査回答について
	第4号議案 理事貸付について
	第5号議案 大口信用供与等規制の見直しに伴う信用事業規程の一部変更について
	第6号議案 組合員表彰について
	第7号議案 外部出資（株式会社河津バカテル公園）の解散に伴う償却について
	第8号議案 土地収用（道路拡幅工事）に伴う用地売却及び店舗の解体について
5月1日	青壮年部南伊豆支部食育活動（もみまき）
1日～8日	J A 全国監査機構期末監査
7日	静岡県花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
7日～8日	ちょきんぎょ旅行1班 （スパリゾートハワイアンズとひたちなか海浜公園ネモフィラ祭り）
11日～12日	ちょきんぎょ旅行2班（1班と同行程）
13日	青壮年部稲取支部食育活動（芋さし）
13日～14日	ちょきんぎょ旅行3班（1班と同行程）
14日	南伊豆花卉園芸組合通常総会
"	青壮年部稲取支部食育活動（芋さし）
21日	第1回監事会
25日～26日	女性部いきいきライフセミナー開講式
26日	青壮年部南伊豆支部「育農プロジェクト」（いちご収穫）
29日	第2回定例理事会
	第1号議案 平成26年度貸借対照表、損益計算書、余剰金処分案、 注記表、事業報告、付属明細書の承認について
	第2号議案 第25回通常総代会について
	第3号議案 農地利用集積円滑化事業規程の一部変更について
	第4号議案 西部地区葬祭会館の建設について
	第5号議案 投資信託法の改正による定款の一部変更について

年 月 日	処 理 事 項
平成27年10月3日	J A クリーンロード大作戦
6日	青壮年部南伊豆支部食育活動（稲刈り）
7日	南伊豆花卉全体会議
20日～11月2日	平成27年度仮決算監事監査
21日	中伊豆温泉病院と女性部の意見交換会
22日	第31回有機農法部会通常総会・販売報告会
〃	中核的人材育成「太陽塾」2期生開講式
〃	女性部熱川支部食育活動（収穫したさつまいもを使った料理）
29日	第7回定例理事会
	第1号議案 不良債権処理の方針について
	第2号議案 平成27年度仮決算について
	第3号議案 余裕金運用等にかかるリスク管理手続の一部変更について
〃	青壮年部と常勤理事との話合い
11月 4日	ハウスみかん部会販売報告会
11日	女性部仁科支部食育活動（大豆の収穫）
12日	青壮年部熱川支部食育活動（さつまいも収穫）
〃	青壮年部河津支部食育活動（落花生収穫）
12日～20日	地区別座談会
13日	第6回監事会
17日	東部女性部五実会（伊東市）
26日	第8回定例理事会
	第1号議案 出資減口について
	第2号議案 子会社管理部署の変更に伴う職制規程（機構図・業務分掌表・決裁基準表）及び子会社管理規程の一部変更について
	第3号議案 マイナンバー制度導入に伴う「特定個人情報取扱規程」の新設及び諸規程の一部変更について
	第4号議案 当座貸越の継続について
	第5号議案 理事貸付について
	第6号議案 第26回JA伊豆太陽農業祭開催について
	第7号議案 なめこセンター施設の使用目的変更に伴う解体中止について
27日	青壮年部稲取支部食育活動（さつまいも販売）
12月 5日	T P P大筋合意に対する生産者緊急要請集会
9日	いちご委員会立毛品評会
〃	下河津リファレンステストルーム（日持ち試験室）稼働
24日	第9回定例理事会
	第1号議案 伊豆太陽農業協同組合確定給付企業年金規約の一部変更について
	第2号議案 平成27年度仮決算監事監査指摘事項回答書について
〃	第7回監事会

年 月 日	処 理 事 項
平成28年1月6日～14日	J A 全国監査機構期中監査
14日	女性部南伊豆支部湯けむりの会郷土食を園児へ
22日	女性部発表大会東部地区予選
23日	南伊豆分校農芸祭
27日	青壮年部発表大会東部地区予選
28日	第10回定例理事会
	第1号議案 伊豆太陽農業協同組合職員給与規程の一部変更について
	第2号議案 当座貸越の継続について
31日	J A 大井川女性大学・J A 伊豆太陽女性部交流会
2月2日～5日	金融・共済合同観劇 「松原のぶえ・新沼謙治歌謡ショー」
4日	東伊豆町女性部食事サービス
5日	南伊豆町こども園みそ作り
12日	ⓐわさび共販委員会販売検討会
15日	女性部発表大会
16日	東部地区いちご委員会中間販売検討会
18日	J A 伊豆太陽 1 支店 1 協同活動発表大会
20日～21日	第32回静岡県花の展覧会
23日	女性部中伊豆温泉病院ミニドック講習会（西部）
25日	マーガレット消費宣伝
〃	女性部中伊豆温泉病院ミニドック講習会（中・南部）
26日	静岡県柑橘生産者大会
29日	第11回定例理事会
	第1号議案 平成28年度事業計画（案）について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 機構改革に伴う職制規程（機構図・業務分掌表・決裁基準表）及び諸規程の一部変更について
	第4号議案 JA静岡厚生連に対する体制強化整備負担金の支出について
	第5号議案 参事の解任について
	第6号議案 大口貸付について
	第7号議案 農産物検査業務規程の一部変更について

